

# 進む！企業立地

～働く場の確保・産業の振興のために～

地域や若者の働く場を確保し、人口減少に歯止めをかけるため、平成25年4月に企業立地推進課を設置し、市外からの企業誘致や市内企業の流出防止を図る取り組みを行っています。

## 企業訪問・トップセールス

首都圏、関西圏への企業訪問を行い、県主催の企業向けセミナーで市長自ら市の魅力をPR。また、市内企業へのワンストップサービスとして企業訪問を実施。

## 企業用地開発

企業誘致の受け皿として内陸用地の確保に努めるとともに、国道23号バイパス蒲郡西IC付近の柏原町堀切地区の企業用地開発を計画しています。

このような企業誘致の取り組みにより、平成26年12月に、相楽町民成工業用地に新たな企業が進出することが決まりました。



相楽町民成工業用地

## 蒲郡の強み 道・港

企業誘致活動における蒲郡の強みは、物流活動に必要な道路と港が整備されていること、それらが近くにあることです。

### 道 国道23号蒲郡バイパス、東名高速道路、国道1号など横軸幹線道路から近い

国道23号蒲郡バイパスは平成26年3月に蒲郡ICまで開通しました。西三河・名古屋方面へのアクセスが便利になり、現在は全線開通に向けて工事が進められています。これらの幹線道路への連絡道路の整備なども計画が進められています。



企業用地として開発計画中の柏原町堀切地区

### 港 三河港蒲郡ふ頭 マイナス11m岸壁供用開始



三河港蒲郡ふ頭に、大型船舶にも対応できる岸壁が整備され、平成27年3月に一部供用を開始しました。蒲郡ふ頭は三菱自動車(岡崎市)の輸出拠点となっています。岸壁の整備により、ヨーロッパや北米などへの大型自動車運搬船が接岸しやすくなりました。今回は1バース(250メートル)の供用ですが、物流・交流の拠点として港湾利用を促進し、全体(750メートル)が完成すれば地域のさらなる産業・観光の発展が期待されます。

◀マイナス11m岸壁に接岸した運搬船への積み込みの様子自動車6,500台積載可能な運搬船は8～9階建てビルほどの大きさです。